



つぼみ保育園年報 第20号

2017年(平成29年)8月 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会 つぼみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24

[TEL] 092-681-4782 [FAX] 092-681-4780

[E-mail] tsubomi@nifty.com

[HP] http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/



「園長交代」と「法人組織改編」 理事長/統括園長 大浦 純平

「お疲れ様でした、そして、有り難うございました」



この4月に三園の園長が交代しました。つぼみ保育園の「大久保園長」とさわらび保育園の「檜原園長」は退職により、また、新宮つぼみ保育園の「大浦園長」は法人内部の異動に伴う辞任により、それぞれ新園長が就任しました。各園のこの紙面に前園長と新園長のご挨拶が掲載されていますのでお読み下さい。

大久保先生と檜原先生がそれぞれの立場で児童福祉の世界で永年に渡りご苦勞を重ねられましたことに敬意を表するとともに、法人として園の発展に大いに寄与していただいたことに対し心から感謝をいたしております。

また、3名の新園長には先輩園長が築き上げた保育を更に充実させ、子どもたちにとって最善の喜びに満ちた保育園となるよう大いに期待をしています。

「社会福祉法人を取り巻く状況の変化、そして、評議員会の設置義務と役割」

保育・介護分野は、社会福祉法人だけではなく株式会社やNPO法人など、多様な経営主体が競合する市場となっています。その中で補助金や非課税措置などの財政上の優遇措置を受けている社会福祉法人は、公益性・非営利性を担保する観点から、透明性の確保に努め、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人のあり方を示す必要があります。そのため今回、法的整備を実施し、社会福祉法人改革がなされることとなりました。その中で、「理事・理事長に対する牽制機能として、議決機関である評議員会を必ず置くこと」が示されており、当法人としても昨年1年間かけて新たに評議員会を設け、法人運営にかかる重要事項の決定をする議決機関として位置づけることにしました。また、評議員の決定については評議員選任・解任委員会を設置し、そこでの審議を経て行うこととなりました。

株式会社参照してみると、理事会は取締役会、評議員会は株主総会に当たるとお考え下さい。

以上の経緯により、法人の役員組織が以下のようになりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

Table with 4 columns: Role (理事, 監事, 評議員(新), 評議員選任・解任委員(新)), Name, and other details.

日本各地での災害や九州北部豪雨による甚大な被害、テレビニュースで流れる被災地の映像は一瞬にして失われた尊い命や楽しかった日常を奪われてしまった被災地の皆さまの無念さに胸が締め付けられます。心よりお見舞い申し上げます。

さて、私事でございますが、3月31日をもって退職いたしました。長い間、公私に亘りご支援を賜りましたこと有難く感謝申し上げます。これからもつぼみ保育園を通して出逢った多くの皆様との輪を大切にしていきたいと思っております。

感謝

前園長 大久保 雅子



「子どもの最善の利益を最優先し、安全で安心できる保育園でありたい」と一生懸命やってきましたが、熱い心で走り続けた47年間たつたように思います。私は、さらさら輝いた瞳で身も心もゆだねてくる子ども達が大好きです。この「子ども達のために」との思いが原動力となり、たくさんの方々に支えられたおかげで保育士として47年間続けることができました。子ども達の賑やかな声の中で過ごし、子育てに携われる日々が大好きでした。その時々の一瞬一瞬を大切に開き、そこで紡がれた数々の出来事から念じております。

これから

園長 小島千枝



■保育士という職業

26年前、私が運動遊びの講師としてつぼみ保育園との最初のご縁をいただいた時、大久保雅子先生が主任、西村美香先生は新任保育士でした。その5年後に保育士として勤務し、一度退職した後に新宮つぼみ保育園、第2つぼみ保育園と勤務して、再びつぼみ保育園に戻って7年目の今年、4月1日付けで園長職を拝命いたしました。深いご縁と大役の責任を感じながら一日一日を重ねています。

前任の大久保先生には到底力及ばずですが、元氣っぱいの西村先生が主任として支えてくれています。今後皆様にお力添えをいただきながら、一歩ずつ、前任に近づいていけるよう努力する所存です。また、微力ながら、つぼみ保育園の発展のために尽くしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

念させるほど想定外の大変さがあるのでしょうか。一人ひとりの子ども達やその保護者の方々への対応、環境の整備、おたよりや書類の記入(福岡市の保育書類の質と量は日本一と言われます)、保育や行事の準備などなど、毎日心と体と頭をフルに使って保育士はクタクタ：大変です。でも、この大変さを分かち合い、励まし合い、助け合い、同じ目標に向かって育ち合う仲間がいれば、乗り越えられるかもしれません。保育士の大変さはばかりクローズアップされますが、保育園で働くことはとても楽しいです。日々、小さな喜び、驚き、感動に満ちています。上手にいかないことや失敗もありますが、保護者の方の子育てを支える仕事をしながら、自分自身が育つ、育てられていることを実感できます。職員が「保育士になつて良かった」と思い、その姿を見て「保育士になりたいな」と思ってもらえる、そんな保育園でありたいと思っております。

人生楽しまなくっちゃ(\*^-^\*)

平成29年度 父母の会 会長 喜多 正貴



皆さまこんにちは。今年度で5年目の父母の会会長を務めさせていただくことになりました喜多正貴と申します。今年度もよろしくお願いいたします。

九州北部大豪雨によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様ならびにご家族の皆様にご挨拶を申し上げます。また、一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

前年度で大久保園長先生がご退任され、今年度より小島園長先生がご就任されました。私たち父母の会は、よりいっそう緑の下での力持ち的存在として邁進していかなければ、と考えております。OB・OGの皆さまのご理解とご協力のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年度の父母の会のスローガンは『楽しもう!共育!!“子どもと共に 家庭と共に 仕事と共に”の父母の会』～やれるときに、やれる人が、やれることをやろう(O)～です。子どもたちのために、園のために、自分たちのために、まずは自分自身が楽しまなくっちゃ(\*^-^\*)という意味を込めています。我々大人の笑顔が、子どもたちの溢れる笑顔につながりますように。。

最後になりますが、11/25(土)開催予定にしております「友愛セール・バザー」に皆様のご参加を奮ってお待ちしております。OB・OGの皆様が、思い出深い当時の思い出をいただき、居心地の良い時間を過ごしていただけたら幸いです。

まだまだ暑い日が続きます。どうぞご自愛くださいませ。

行事

Calendar table for the fiscal year 2017, listing events such as 'New Year Meeting', 'Parent Welcome Meeting', 'Dental Checkup', etc., with dates and locations.

平成28年度 つぼみ保育園決算状況 (単位 円)		
【 資金収支計算書 】		
事業活動資金収支	保育事業収入	290,577,059
	経常経費寄附金収入	563,496
	受取利息配当金収入	350,465
	その他の収入	5,250,008
	事業活動収入計(1)	296,741,028
	人件費支出	182,237,946
	事業費支出	31,869,424
	事務費支出	20,277,663
	支払利息支出	0
	その他の支出	4,191,344
施設整備等	施設整備等収入計(4)	1,035,000
	施設整備等支出計(5)	2,578,740
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-1,543,740
その他の活動	その他の活動収入計(7)	0
	その他の活動支出計(8)	48,386,355
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-48,386,355
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		8,234,556
前期末支払資金残高(11)		19,743,551
当期末支払資金残高(10)+(11)		27,978,107

【 貸借対照表 】		
資産	流動資産	40,702,762
	固定資産	453,918,934
	基本財産	184,045,405
	その他の固定資産	269,873,529
資産の合計		494,621,696
負債	流動負債	12,369,917
	固定負債	3,795,520
	小 計	16,165,437
純資産	基本金	43,103,048
	国庫補助金等特別積立金	134,210,624
	その他の積立金	217,126,000
	次期繰越活動収支差額	84,016,587
	小 計	478,456,259
負債及び純資産の合計		494,621,696

※詳しくは輔仁会ホームページの情報公開よりご覧頂けます

# つぼみ太鼓とつぼみぶち合わせ太鼓

主任保育士 西村美香



↑青組の活動時間での様子。



↑タイヤを使用しての練習。



↑保育士と個別に練習。



↑近隣に配慮し、タオルを掛けて練習。

つぼみ太鼓にも長い歴史があります。私が平成3年に就職した年は、子どもも大人も親分太鼓・大太鼓・中太鼓・小太鼓・竹太鼓・鐘と複数の楽器を使っていました。今は、子どもは大太鼓・中太鼓・パーラック・響管(きょうかん)を、大人は宮太鼓(複数台)・笛・鐘を使ってのぶち合わせ太鼓を行っています。

子ども達は午後からの青組の活動時に、保護者は6月に入ってから毎週土曜日の午後に練習を行っていましたが、近隣からの騒音の苦情もあり、近年は太鼓にタオルを被せたり、タイヤを叩いて練習をしています。実物の太鼓の感覚がなかなか掴めないまま本番を迎えますので、思ったよりも大きな音が出たり、本物の皮の振動に慣れなかったり、特に子ども達は戸惑っています。それで何度も太鼓を「やめようか…」と、職員会議で議論しました。しかし、音符が読めなくても鍵盤が弾けなくても身体でリズムをとって楽しく叩ける太鼓ならではの良さ、そして身体の奥に響く音や一人ひとりの音の一つに重なり響いた時の感動を体験させたいという私たちの想いがあります。また、ずっと青組に憧れ待っている年下の子ども達の姿、楽しみにしている保護者の皆様の想いに、やめるタイミングを決められず今があります。昔のような仕上がりにはなりません、子ども達は憧れの青組になって太鼓を叩き、喜び楽しんでいきます。

そこで昨年度から大人は公共の施設を借りて練習を行っています。今年度は子ども達も公共の施設で2回程行おうと計画しています。

この先、いつまで続けられるのか？私たちの課題ですが、色々な工夫や努力をしながら、地域の方のご協力やご理解を頂いて行っているのが現状です。



↑保護者有志との顔合わせ。



↑遊戯室で振りの練習。



↑公共施設での練習。



↑6台の太鼓を揃えての練習。

平成29年度 職員構成 (8月1日現在 54名)		
園長 小島千枝		
主任 西村美香		
副主任 猿渡健一		
事務主任 大浦理絵		
もも組	中北由里	津田豊子
	濱田麻衣	藤島楓
	林郁子	川口ますみ
	小西真弓	野口希世
	宇佐美敦子	清水淳子
うめ組	折居香織	田中富美子
	平嶋美里	明吉真美
	小田晃子	木之下文
	岡崎久美子	藤井由美子
さくら組	小田彩佳	岡あき穂
	呼子茄穂	石橋優希
	越治和代	小江愛美
	原真理子	
すみれ組	松本達則	前田キララ
れんげ組	幾度良恵	
つくし組	稲用美耶	内田久子
わらび組	高崎謙	
なずな組	副島綺羅星	松崎征子
年長グループ	猿渡健一	
栄養士	岩崎真樹	福島千春
調理員	河津和美	高松文恵
	岡崎千代	安部順子
	久保淳子	
用務員	岩崎直子	

第2つぼみ保育園(分園)		
分園長 田村明子		
保育士	宮川京子	福崎夏弥
	野田美和子	光安佑佳
	田中孝子	
	阿部俊子	野中智子
管理栄養士	城戸奈緒	

平成29年度 父母の会役員	
会長	喜多正貴 (すみれ)
副会長	矢野智子 (すみれ)
々	田川健司 (さくら)
会計	長田裕子 (うめ)
々	川村悠 (すみれ)
々	篠原弘 (れんげ)
書記	坂戸雄一 (さくら)
々	大久保学史 (つくし)
委員	寛哲弘 (もも)
々	木原桂子 (もも)
々	山根康佑 (うめ)
々	金子耕一朗 (うめ)
々	田中秀宣 (さくら)
々	吉浦未貴 (すみれ)
々	國松功 (れんげ)
々	後藤法子 (れんげ)
々	神武朋子 (れんげ)
々	森竜介 (つくし)
々	安達和香子 (つくし)
々	中川原健介 (つくし)
々	宮崎環 (わらび)
々	森田英資 (わらび)
々	川野耕太郎 (わらび)
々	川越亮治 (わらび)
々	河島孝 (なずな)
々	杉本亘平 (なずな)
々	田崎公士 (なずな)
監査	古川翼 (なずな)
々	廣重円香 (わらび)

寄せられた意見・要望 (社会福祉法の公表義務付けに準拠)

受付年月	申出者	受付内容	解決結果
平成28年 5月14日	近隣住民	父母の会と職員の懇親会の声や拍手が耳障りで、体調が悪いのに休養できない、また夏のプール遊びの歓声などにも困惑していると電話で連絡があった。	懇親会参加者に静かにするように伝え、閉会時間を早めた。プール遊びは1日5クラス実施していたが3クラスに減らし、保育士の指導の声や子ども達の歓声などが近隣への迷惑にならないよう配慮するようになった。
平成28年 6月14日	不明 (保護者の方)	「お迎えの時に保育士が子どもの頭をたいたいている場面を数回目撃したが、そのような教育方法は正しいのでしょうか」という問い合わせが、福岡市保育協会ホームページにメールで送られてきた。	全職員を数グループに分けて事実確認をしたが、身に覚えのある者もそのような行為を目撃した職員もいなかった。いかなる場合も子どもの身体のどの部位も叩いて指導することは、いけないと職員全員で確認し合った。この結果を福岡市保育協会にも報告した。

## トピックス

■緑をいっぱい！  
園庭に7本の木々が植樹されました。また、屋上のフネス越しには蔓草が生い茂るようにプランターが設置されました。園内を緑化し自然に囲まれた環境作りをしています。

■アゲハ蝶、飛んでいけ！  
おやつで食べた甘夏の種をプランターに植え、芽が出て育った葉っぱにアゲハ蝶が卵を産み付けていきます。子ども達や保育士が卵や幼虫を見つけて、各保育室で育てています。小さな黒いイモ虫が葉っぱを食べながら脱皮して青虫となり、さなぎ、蝶になる様子を楽しみながら観察しています。毎年たくさんアゲハ蝶がつかみから飛び立っています。

■折たたみ式鉄棒を活用しています  
28年度の在園記念品にいただいた折り畳み式鉄棒。室内での鉄棒遊びの際に使っています。今年度は運動会でも活躍しそうです。

■カーペットを新調しました  
発表会などの客席用に遊戯室にカーペットを敷いていましたが、長年の使用に伴い劣化していたため、新調しました。特注サイズで、座り心地も良いようです。

■テレビ会議を円滑に…  
法人内では、テレビ会議を行っています。三園で話し合いの場を設ける際、一カ所に集まる時間を省き、テレビという媒体を使うことにより円滑な話し合いができています。この度システムをリニューアルすることによりタイムラグが殆どなくなり、より一層リアルタイムでの情報交換ができるようになりました。

